



各 位

エコワークス、国土交通省 平成28年度

第1回サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)採択

～ 熊本県産材100%活用の高性能住宅普及で被災地復興を後押し ～

この度、エコワークス株式会社(本社:福岡市・代表取締役社長:小山貴史)は、熊本地震で被災した住宅の復興支援のため国土交通省「平成28年度 第1回サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)」において「熊本地震復興支援くまもと型住宅先導プロジェクト」を代表提案し採択を受けました。当プロジェクトは、熊本地震復興支援の一環として提案したもので、主として熊本県内に本社(事業所)を置く地域工務店により、熊本県産材を利用し、且つ「省エネ性・健康性・防災性」を兼ね備えた地域型先導的モデルの普及を目指すものです。この度の採択では、本提案により被災地において先導的モデルが早期に実現されるとともに、地域工務店及び地域経済の活性化へも繋がることから、震災復興への貢献に期待できるとして評価をいただきました。また、この度の採択に伴い、一般社団法人 くまもと型住宅生産者連合会(所在地:熊本市・代表理事:小山貴史)を設立。復興工事で多忙を極める地域工務店に代わり申請手続や技術支援を行うことで、一日も早い震災復興が実現するよう努めます。

健康で省エネ、しかも災害に強い

地域型先導的モデルに補助金最大227.5万円

当モデルは、「省エネ性・健康性・防災性」を兼ね備えた住まいです。日射遮蔽に配慮し、HEAT20のG2グレードまで断熱性能を向上させ、CASBEE評価やBELS表示を実施することで住まいの省CO₂化を可能にします。中でも当モデルで最も重要視したのは住まいの防災性です。長期優良住宅認定を標準化し、耐震性能においては最高ランク3を取得。さらに高断熱による室温の維持、電力や生活用水の確保が可能な設備を備えることで高いレジリエンス性(防災性)を実現します。「健康で省エネ」であるだけでなく、「災害にも強い」住まいを広く普及させ、お客様に将来に渡り安心して暮らしていただくことが私たちの願いです。

■ レジリエンス性(防災性)への配慮

- 1 室内の温熱環境の維持** HEAT20 G2グレード
停電時でも一定の室温が維持できるよう高断熱化に取り組む
- 2 建物の地震対策** 耐震等級3
地震に強く家族の命を守る建物にするために
- 3 生活用水の確保** 高効給湯器貯湯槽または雨水タンクを設置
- 4 電力の自立化** 太陽光発電
停電が起きても日中は電気が使用できる大きなメリット(推奨)
- 5 CASBEEレジリエンスチェックリストの推奨**

■ 省エネルギーで非常事態でも生活を維持

- 1 CASBEE** (建築環境総合性能評価システム) 環境効率★★★★★ランク
- 2 BELS** (建築物省エネルギー性能表示制度) 一次エネルギー消費量5つ星
省エネ率30%以上
- 3 断熱性能の向上** HEAT20 G2グレード
停電時でも一定の室温が維持できるよう高断熱化に取り組む
- 4 日射遮蔽性能の向上** CASBEE戸建(新築)QH1
日射の調整機能
最高レベル5相当
- 5 ZEHもしくはニアリー-ZEH** (推奨)

熊本県産材100%使用により

被災地産業の活性化による復興支援を

当モデルは、構造材及び羽柄材に熊本県産材を100%使用。日本でも有数の木材産地である熊本県の木材が復興支援に使用されることで、間接的に被災地の産業の活性化につながり、さらに被災地全体の復興支援になることが期待できます。



一日でも早く安全な住宅を被災地へ

一般社団法人 くまもと型住宅生産者連合会を設立

地域工務店に代わり、当プロジェクトの申請手続きや、技術支援を行う「一般社団法人 くまもと型住宅生産者連合会」を設立。被災者の方々へ災害に強く環境にやさしい住まいを一日でも早くお届けし、被災地復興に貢献できるよう全社を挙げて取り組んで参ります。

